

岸和田の魅力が広がる 観光の今と未来

— 南大阪をリードする城下町・農・食の観光 —

●と き:2023年

10月29日(日)

●ところ:(第2部シンポジウム)

岸和田市立浪切ホール

特別会議室 (岸和田市港緑町 1-1)

南海本線「なんば」駅から急行で

「岸和田」駅へ約 25 分

「岸和田」駅から徒歩約 15 分

●主催:日本観光研究学会関西支部

共催:岸和田市



●第1部:市内見学(エクスカーション) 9:30~12:00 頃

○集合:9:30 に南海岸和田駅(中央出口) ○募集定員:20名

●第2部(シンポジウム)

14:00~16:30

(開場:13:30 より)

○募集定員:30名

○参加費:無料。

○基調講演 岸和田市長 永野 耕平 氏

○パネルディスカッション

<パネリスト>

中原 啓尊氏(岸和田古眠家 Base 代表)

谷口 敏信氏(JA いずみの組合長)

森 孝司氏(大阪調理製菓専門学校 校長代理)

阪口 寿子氏(岸和田市観光振興協会 事務局長)

<コーディネーター> 小長谷 一之氏

(日本観光研究学会関西支部長、大阪公立大学大学院教授)



申込〆切 10月20日

日本観光研究学会関西支部は、毎年度、地方自治体と連携し、地域の観光について語り合う地区懇話会を開催しています。2023 年度は、岸和田市と共催で開催することになりました。

岸和田市はすでにだんじりや岸和田城等の歴史的資源がありますが、さらにまちなかでは周辺城下町の整備・活用、郊外部では道の駅「愛彩ランド」を中心とする農業・農村観光等を進め、そして、今、新しい観光魅力の拡大のため、豊かな海の幸・山の幸を活用し、岸和田の新しい食をつくる「食の磨きあげ事業」にも取り組んでいます。

南大阪をリードする観光資源の都市として、これからの岸和田の「観光」の広がりについて語り合いたいと思いますので、奮ってご参加ください。

第1部:市内見学(エクスカーション)で訪問するおもなスポット

- 時間:9:30~12:00 頃 ○集合:9:30 に南海岸和田駅(中央出口) ○参加費:無料。
○募集定員:20名。専用バスで市内の主要な魅力資源を見学します。解説付きです。
○コース:南海岸和田駅→①道の駅「愛彩ランド」で見学・買い物等→②車中から観光農園・岸和田丘陵等を見学→③岸和田城周辺(歩いて、岸和田城、だんじり会館、城下町等を見学)
※第1部のみご参加の方はここで解散
○昼食:12:00 頃~13:00 頃 杉江能楽堂 公諷庵(こうふうあん)
能楽堂をリノベーションしたレストランでゆっくりランチを楽しんでいただけます。
昼食代は各自負担(1000~2000 円程度)
※第2部(シンポジウム)会場までバスで送迎

■岸和田城(きしわだじょう) ↓

建武新政期に楠木正成の一族、和田高家が築いた伝承がある。1585年、羽柴秀吉の紀州根来寺討滅後、叔父小出秀政を城主として城郭整備。明治維新まで岸和田藩の藩庁が置かれた。5層の天守閣は1827年に落雷で焼失し、1954年に3層3階の天守閣が建造。城跡は1943年に大阪府指定史跡。近年は、岸和田城ウエディング、ギャラリーや各種イベントなどでも活用。



■本町・旧紀州街道沿いのまちなみ ↓

かつて大阪と和歌山を結んだ街道で、江戸時代に参勤交代のために整備された。城下町時代を支えた商家群には、本瓦の屋根やむしこ窓のある中二階、出格子など、当時の風情を今なお残す町家建築が見られる。



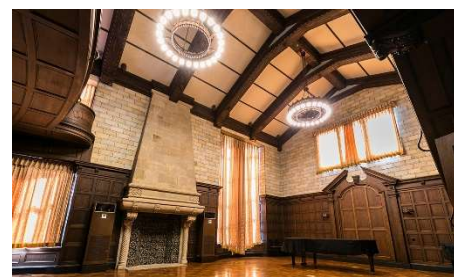
■杉江能楽堂(すぎえのうがくどう) ↑

1917年に旧岸和田城内にあった能舞台の橋懸(はしがかり)を賜り建立。現存する大阪府下最古の能舞台で、国宝に指定されている「西本願寺北舞台」の形式を踏まえている。能楽堂内に、ランチやスイーツが楽しめる場として「公諷庵(こうふうあん)」が整備されている。



■自泉会館(じせいかいかん) ↓

現在のユニチカの前身の一つ、岸和田紡績の2代目社長・寺田甚吉が、会社の社交場などとして1932年に整備した建物を、1943年に岸和田市へ寄贈。以降、音楽ホールやギャラリー、会議室など文化活動の場として一般開放。関西の建築家・渡辺節が設計。近世スパニッシュ風の建物は登録有形文化財に指定。



■道の駅「愛彩ランド」 ↓

JA いずみの運営による農産物直売所は、関西の道の駅ではトップクラスの集客数を誇る。岸和田市漁協直送の鮮魚や、70種類の料理が並ぶランチバイキングのレストランも人気が高い。



■岸和田だんじり会館 ↑

岸和田の代名詞である「だんじり」に関する資料を展示する施設。現存する最古の岸和田型だんじりや、だんじりの大屋根に乗って大工方気分が味わえる体験コーナーもある。

【お申し込み方法】・以下の学会ホームページ(関西支部)のお知らせを読み、指定のGoogleフォームからお申込みください。(先着順となります)

申し込み先:<http://www.kankoryoku.jp/>

・〆切:2023年10月20日(金)

・問い合わせ先:日本観光研究学会関西支部事務局 gakkai@kankoryoku.jp